

# 民主党 神戸市議会 News

編集・発行＝民主党神戸市会議員団／TEL 078-322-5844 FAX 322-6161



**安心・安全・住み良い須磨の街づくりに全力投球！**

## 神戸市会議員 大井としひろ

朝夕めっきり涼しくなりましたが、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

私も神戸市会に初登庁してから早や四ヶ月余りが過ぎ、市会議員として、又、建設水道常任委員会委員および空港・新産業に関する特別委員会委員として安心・安全・住み良い街づくりに全力投球で毎日多忙な日々を送っています。

### 雇用問題に

### 真正面から取り組みます

私たちの神戸市は、長引く景気の低迷や地価の下落に伴い市税の減収が続ぎ、又、震災復興に伴う多額の市債の償還に加えて失業率の悪化などを背景にして極めて厳しい経済状況にあります。市政の一般会計収支見通しは、今後三年間で毎年四百億円の財政収支不足が見込まれるなど緊急の対策で手を打たなければ平成十七年度には財政再建団体に転落しかねない大変厳しい状況にあると神戸市行財政改善懇談会で報告がなされております。

このような厳しい神戸市の状況ですが、矢田市長には何よりも神戸経済の活性化と雇用の確保に力点を置いていただき、市長には「二万人の雇用の創出」の公約の早期実現に向けて取り組んでいただき、一人でも多くの働く仲間の雇用を守り一人でも多くの仲間の雇用の場をつくり出すことに私も全力を傾注し真正面から雇用問題に取り組んでまいります。

**私たちは国民のみなさんにお約束します**

十月五日、民主党と自由党の合併大会が開かれ、私たち民主党は新しいスタートを切りました。政治の主人公は国民の皆さんです。税金を無駄遣いする今の政治を変え、安心して暮らす社会を目指して「つよい日本」をつくり出します。私たち民主党の決意をお示しするため、「マニフェスト（政権政策）」をまとめました。私たちは、これらを実現するために全力を尽くします。

### 民主党の政権政策「マニフェスト」

1. 失業のない、つよい経済を再生します。
2. 税金のムダづかいをやめ、公正で透明性のある政治を実現します。
3. 「自立力」をもった、活力に輝く地域を創造します。
4. 子どもや高齢者、女性が安心して暮らせる社会をつくり出します。
5. 国民の命と健康を守るつよい社会を実現します。

### 民主党 7つの重点政策

#### 1 基礎年金の税方式への移行

基礎年金と所得比例部分からなる二階建て年金制度を4年以内に確立します。財源については、消費税と掛け金の割合で安定化させます。

#### 2 凶悪犯罪への罰則強化と警察官の増員

警察官を4年間で3万人以上増員するとともに、凶悪犯罪を厳罰化し、治安の回復につとめて、暴力や犯罪を許さない社会をめざします。

#### 3 川辺川ダム・諫早干拓・吉野川可動堰計画の即時中止

これまで税金を無駄に使っていた。自然破壊型の公共事業を改め、自然回復型の新しい公共事業への転換を進めます。

#### 4 高速道路の無料化と道路公団の廃止

地域経済活性化と流通コストの削減をはかるため、大都市以外的高速道路は3年以内に無料とし、道路公団は廃止します。

#### 5 国会議員数1割以上、公務員人件費1割以上を4年間で削減

国会議員数及び公務員人件費を削減するとともに、高級官庁の天下り禁止、政治資金の全面公開、拘留中の議員報酬の凍結を実現します。

#### 6 30人学級制の実現と学校5日制の見直し

子ども一人ひとりに行き届いた教育ができるように少人数教育の確立。特に、4年以内に小学校低学年30人学級の実現や、学校5日制の見直しで学力回復をめざします。

#### 7 補助金1兆8000億円を地方の自主的な財源に

無駄の多い、国から自治体へのひも付き補助金を4年以内に廃止し、地域が自主的に使える財源を飛躍的に増やします。

市政についてのご意見・ご要望をお聞かせ下さい。

何事によらずご相談下さい  
神戸市会議員

**大井としひろ**

〒654-0132  
神戸市須磨区多井畑南町22-15  
TEL-FAX 743-6155  
メールアドレス  
Kobe-001@leto.eonet.ne.jp

毎週駅前にてご挨拶をしております。お気軽にお声掛けください。(6:45~8:30)  
月曜日：地下鉄名谷駅、水曜日：地下鉄妙法寺駅  
金曜日：J.R須磨駅

# 抜本的な改革で経営改善の努力を！ 橋本秀一議員が総括質疑

決算特別委員会総括質疑は橋本秀一議員が、矢田市長に対して①公営企業の民営化や民間移譲について②高速鉄道事業の資本費の見直しやバス事業の資金調達③PC（ポートアイランドコンテナバース）の土地活用④小児救急医療の連携体制について質しました。民主党議員の局別質疑のあらましは次のとおりです。



総括質疑に立つ  
橋本秀一議員（西区）

## 第三回定例会市会（9/24～10/7 決算特別委員会）

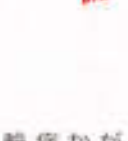
月/日	曜	摘 要
9/17	水	本会議
9/18	木	常任委員会
9/19	金	常任委員会
9/24	水	本会議 「代表質疑」
9/25	木	建設局 下水道事業会計
9/26	金	みなと総局 港湾・新都市整備事業会計
9/29	月	保健福祉局 病院事業会計
9/30	火	交通局 自動車・高速鉄道事業会計
10/1	水	水道局 水道・工業用水道事業会計
10/3	金	総括質疑
10/6	月	意見表明 空港・新産業に関する 特別委員会
10/7	火	意見決定
10/9	木	本会議 「議案外質問」

### 下水道 事業会計



**Q** 高度処理水の短期的目標及び中・長期的目標はどうか。又、防火用水や工業用水等、他の使いみちは考えているのか。  
**A** ポートアイランド・鈴蘭台・玉津の三処理場で全量高度処理を実施している。トイレ用水や散水用水のほか松本地区のせせらぎなどで修繕用水、処理場内の雑用水等に利用しており、有効利用率は一〇・八％で目標の一〇％をすでに達成している。長期的な目標として二〇二五年に有効利用率三〇％としている。ポートアイランドでは防火用水として利用可能であるし、松本地区においても防火用水等、非常時の利用が予定されている。ポートアイランド二期においても今後企業が進出して使っていたらけるよう期待したい。

### 港湾・新都市整備 事業会計



**Q** 神戸港のコンテナ取扱量はかつて世界第二位、現在は二十一位となっている。神戸港のビジョンを短期・中長期的にどのようになっているか。  
**A** ポートアイランドから六甲アイランドの東側（物流ゾーン）はスーパー中核港湾への取り組み、IT化の推進、国際みなと経済特区による規制緩和などを進め、コスト、スピード、サービスの強化に取り組み、取扱貨物量の増加、物流関連企業の誘致を進め、港の活性化を図っていく。新港、メリケン、ハーバーランドの「親水ゾーン」については神戸の観光の魅力を一層高め、集客力の向上につながるものと考えている。「物流」「親水」を分けて、得人は人、物、情報の集まる港として、企業誘致を進め活性化を図っていく。

### 病院事業会計

**Q** 小児救急医療については休日救急診療所が西区にあるが、これで十分と考えているのか。又、地域医療機関との連携が大切と思うが困難である。中央市民病院が基幹病院として果たす役割があると思うが見解を伺いたい。

**A** 従来からテレホンセンター、急病診療所、二次輪番制病院、西区の小児科休日急病診療所からは各所に作らないといけないということだが、小児科医のマンパワーについて市内で確保できるかという問題が出てくる。小児科医の中で輪番で休日に診療所に詰めてもらえるかアンケートをとったが、三分の一しか協力が得られなかったが、一方、六甲アイランド病院に休日、医師会の小児科医が輪番で詰めてくれたり、垂水区内の小児科医が休日に輪番で開けていくというような対応もしてもらっている。トータルで持っている市内の医療資源を使いながら解決していかなければならない。しかし、最終的には市民病院部の中で責任をもってやっていくというように考えている。

### 自動車・高速 鉄道事業会計



**Q** 敬老福祉バス制度について、他都市では見直しの動きがあるが、本市ではどのような考えであるか伺いたい。

**A** 本市では平成六年度より所得額が一定基準以上の高齢者について希望により三万円の有償交付している。その割合は全敬老バ

ス交付枚数の一・三％となっている。超高齢化社会を迎えるにあたって高齢者、障害者の方々の移動支援という本制度の重要性はますます高まると認識している。本市の一般会計の置かれた厳しい財政状況も踏まえながら、本制度の円滑な実施に引き続き協力していきたい。

**Q** 地下鉄海岸線の乗客増対策についてどのような取り組みを行っているか。

**A** 海岸線ウェルカムキャンペーンとして、海岸線沿線に転入された方へチラシを配るとともにアンケートを行い、定期券を購入する際に回答いただいた方々に対してNew Unionカードをプレゼントするなどして、若い人の意見を取り込めるような取り組みを行っている。市街地活性化プロジェクトチームと連携したイベントなどに取組み、目に見える形での乗客増につなげていきたい。

### 水道・工業用 水道事業会計



**Q** 直結給水の普及状況はどうなっているか。小学校の受水槽の解消に努めるべきと思うがどうか。

**A** 十四年度の直結率は四十八％であり、受水槽は五年度をピークに下がりがつつある。平成十五年九月現在、市内百七十校の小学校のうち、二十八％にあたる四十八校が直結により受水されている。直結化が受水槽の衛生問題の根本的な解決策と考えており、教育委員会に積極的に働きかけている。

# 民主党の要望事項

## 決算特別委員会から

### 民主党・決算認定の理由

アフレ経済の下、深刻な収入減に見舞われる中で、各企業とも一層の内部努力を重ねられるとともに、市民生活に不可欠なサービスを抱う公営企業として、全庁挙げてサービスの維持・向上と経営改善に取り組みられることを期待し、平成十四年度決算を認定し、関連議案を承認します。

### 民主党・要望事項から

●公営企業としての独立採算性を基本に、一層の経営改善に努めるとともに、多様化する市民ニーズに応え、福祉の増進に努めること。

### スーパードクター指定獲得を

●スーパードクター指定獲得、国際的な経済特区の実現を通して、官民のさらなるコストダウンの実現、リードタイムの短縮など神戸港の魅力を高め、神戸港の総合的な国際競争力回復に努めること。

### 賑わいのある街づくり

●ポートアイランドPCR1-5の再開発については、長期的な視点で、多種多様な都市機能を有する賑わいのある街づくりに努めること。

### 雇用の創出を

●ポートアイランド2期等をはじめ



神戸国際物流センター(21世紀を見据えた高度物流センター)

### 公共交通空白区の解消

●自動車事業は、交通局が徹底的な経営効率化を図ることを前提に、都市機能の一部として福祉・環境施策を担っていることを考慮し、市民の足として公共交通空白区の解消に取り組みたい。

### 財政支援措置の要請

●公営地下鉄事業は全国的に深刻な赤字にあえいでいることから、政令指定都市が一体となって国に對し、すみやかに適切な財政支援措置を講じるよう要請すること。

### 地下鉄沿線地域の

### 一層の活性化を

●地下鉄海岸線については、沿線プロジェクトの進捗や周辺地域の活性化による乗客増進策に努めるとともに、資本費対策を抜本的に検討されたい。

### 高度先進医療を提供

●中央市民病院については、市民の命と健康をまもる拠点として市民に高度先進医療をまねく提供することを基本的任務として、今後のあり方を検討すること。また、待ち時間の短縮、在院日数の短縮、人件費・材料費など大胆なコスト削減と増収対策に積極的に取り組まれない。

### 小児救急の拡充

●小児救急に関しては、中央市民病院を核に西神戸医療センターや西市民病院の拡充に努め、あわせ輪番制による小児救急外来



医療関連施設が集積が進む(ポートアイランド第2期)

## 月例政務調査会

### 7月

日時 7月7日  
講師 衆議院議員 梅床伸二議員  
(国会対策副委員長)  
テーマ 国会の現状  
自由党との合併問題  
今後の政局の動きについて



### 10月

日時 10月7日  
講師 神戸空港ターミナル株式会社  
代表取締役社長 森井卓二氏  
テーマ 平成17年度の開港に向けての空港ターミナルのビジョンについて(便利で市民に親しみの持てる神戸空港を目指して)



### 9月

日時 9月8日  
講師 神戸市医師会会長 川島隆一氏  
同 副会長 西田芳矢氏  
テーマ 医療特区問題の課題と医療制度へ与える影響  
中央市民病院の今後のあり方(リニューアル、小児救急医療について)

### 神戸版"GIVE KIDS THE WORLD"の誘致を!



川原弘子議員議案外質問で市長に質す

第三回定例会市会最終日の十月九日、民主党議員団を代表して川原弘子議員(番水区)が議案外質問を行いました。医療産業都市構想を含め、産務移転にどのように取り組むのか市長に質しました。又、次の段階として患者と家族をもてなす施設として神戸版「GIVE KIDS THE WORLD」(キブ・キッズ・ザ・ワールド)の検討をという問に對し、市長より神戸で健康が回復でき、心が癒されるまちづくりを目指すためにも積極的な誘致を図りたいとの見解を得ました。その他環境とリサイクルについては、紙類の再利用や焼却コストの削減、ペットボトルのリサイクル企業の誘致について、又、西区の硫酸ピッチ問題については現行の法律や条令では限界があるため、国に對して要望などを検討すべきではないか伺いました。子どもや中高年以上の1丁の普及について、又、学童保育の時間延長や対象学年の拡大についても柔軟な対応を求めました。

# 民主党

# 神戸市議会 News

編集・発行＝民主党神戸市会議員団／TEL 078-322-5844 FAX 322-6161

## 市民ニーズに応えて

### 第3回定例市会報告

## 累積赤字解消へ

## 抜本再建策求める

公営企業決算を審査する第三回定例会は提案された二十一議案を可決して十月九日、閉会しました。民主党は代表質問に川内清尚議員(垂水区)が立ち、市バス・市民病院の経営状況をたどしました。

八つの事業を抱える神戸市公営企業は累積赤字が二千四百二十五億円に達しています。赤字解消のメドはたえず、抜本的な再建策が求められています。

尚、決算委員は前島浩一議員(西区)、橋本秀一議員(西区)・向山好一議員(北区)、川内清尚議員(垂水区)、横畑和幸議員(東灘区)であり、それぞれが局別審査にあたりました。



代表質問に立つ川内清尚議員

民主党は、「公営企業は、言う

**毎年三百四十一億円の  
市税が必要な公営企業体**

までもなく市民が生活していく上で絶対に欠かすことの出来ない事業であり同時に市民の暮らしを支える重要な事業だが、特に高齢化が進んでいる昨今、社会構造の変化に伴い、市民のニーズも多様化している。市民から使用料なり料金を徴収して経営している以上しっかりとこれに応えていかなければならない。一般会計(市税)からの繰り入れは四十四億円減ったとはいえ、三百四十一億円の高水準のまま。民間企業であれば自らの職場・雇用に直結する危機だ。厳しい将来を展望したとき、抜本的な取り組みが強く求められている」と神戸市の公営企業の将来についての矢田市長の基本的な見解をいただきました。

**改革の基本は  
市民サービス低下させない**

市長、基本姿勢を答弁

矢田市長は「将来的には民間委託化や民営化、独立行政法人化なども視野に入れながら、利用者のニーズに的確に対応し、より安定した質の高いサービスを継続的に提供でき、かつ効率的な経営手法の導入について国や他都市の動向を注視しながら、具体性のある検討を真剣に進めていかなければならない」と答えるとともに、「改革の根本は市民サービスを低下させないこと。時代の変化に対応していきたい」と公営企業改革にあたる基本姿勢を明らかにしました。

**規制緩和と  
構造改革推進の中で**

さきの通常国会で「地方独立行政法人法」が成立するなど規制緩和と構造改革推進の中でこれまでの公営企業をとりまく環境が激変しています。

自己責任にもとづく企業会計を本格導入し業績給与制が強く打ち出されています。

民主党は公営企業が市民福祉を支えてきた立場から矢田市長に「民営化ありき」の真意をただし、公共的な市民サービスの向上への配慮を求めました。

### 平成14年度神戸市公営企業会計決算のあらまし

事業名	単年度損益	累積損益	決算の内容	事業名	単年度損益	累積損益	決算の内容
下水道事業	▲19億4千万	▲229億5千万	使用料の減収に対応する為一層の経費改善に努めたが特別損失の計上等により赤字	自動車事業	▲27億9千万	▲247億3千万	景気低迷による乗客数・料金収入の減少や土地売却益の減少により赤字
港湾事業	▲28億8千万	▲364億7千万	港湾関連用地の賃貸料引き下げなどによる減収に対応する為経費の節減に努めたが赤字	高速鉄道事業	▲96億4千万	▲1291億1千万	海岸線が開業間もない事からこれに係る減価償却費や企業債利子の増加等により赤字
新都市整備事業	26億	26億	土地売却収入により利益が伸びたが景気低迷により宅地売却等は依然厳しい状況	水道事業	▲6億4千万	24億1千万	経費節減に努めたが景気の低迷等により給水収入が前年度を下回った為、赤字
病院事業	▲5億7千万	▲327億3千万	診療単価はアップしたが患者数の減少等により赤字	工業用水事業	1億9千万	4億9千万	給水先の企業が減少したが、前年比みの給水収益を確保し黒字